OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	Analyses on Fiscal Decentralization : Evidence from China
Author(s)	丁, 穎
Citation	大阪大学, 2007, 博士論文
Version Type	
URL	https://hdl.handle.net/11094/47149
rights	
Note	著者からインターネット公開の許諾が得られていないため、論文の要旨のみを公開しています。全文のご利用をご希望の場合は、大阪大学の博士論文についてをご参照ください。

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

【2】

氏　　名	丁（テイ）　穎（エイ）
博士の専攻分野の名称	博　士（応用経済学）
学位記番号	第　２０８３０　号
学位授与年月日	平成 19 年３月 23 日
学位授与の要件	学位規則第４条第１項該当 経済学研究科政策・ビジネス専攻
学位論文名	Analyses on Fiscal Decentralization : Evidence from China （中国の財政分権に関する分析）
論文審査委員	（主査） 教　授　山田　雅俊 （副査） 教　授　齊藤　　愼　　教　授　福重　元嗣

論　文　内　容　の　要　旨

本研究は、中国における財政の分権化と経済の関わりを実証的に分析したもので、その１つのテーマは財政の分権化が地域の経済成長、あるいは地域内較差・不平等にどのように影響したか、２つは農業における社会資本投資が農業生産性の向上にどのように寄与したかに置かれ、同問題を幾つかの実証分析の手法で解明している。

論文は６章からなり、次のように構成されている。まず第１章では他の国と同様中国でも近年分権化が１つの重要な課題とされた事実を振り返り、第２章では、そのような考えに対応して中央-地方の財政関係が近年かなり大きく変化したことが概観・展望されている。第３、第４および第５章が本論文の主たる部分で、それぞれ次の問題を分析・考察している。すなわち第３章は各省・大都市における地方分権化と経済成長の関係に関して、1994－2002 年について 30 の省・大都市に関するパネルデータを用い、分権化の度合いと各地域の総生産成長率の関係を推計することによって、従来の実証研究と異なり地方歳出あるいは歳入で測った分権度と各地域の成長率に正の相関があることを発見している。第４章は、第３章と同じデータに基づき、各省・大都市における都市地域（urban residents）と非都市地域（rural residents）の平均所得で見た較差と分権度の関係を分析・検証している。ここでは所得較差と分権度を相互に説明変数とするモデルを想定、同時方程式として推計する方法を取り、この場合に多重共線性等の問題が生じうるため、パネルデータによる通常推計、２段階最小２乗法による推計、および誘導形での推計と複数の推計を行い、その何れでも分権度が較差・不平等と負の相関関係にあり、他方また較差・不平等度が分権度に負の影響を及ぼすことを明らかにしている。第５章は、前２章と異なり、各省・都市ごとの社会資本投資とそれら地域の農業生産性の関係を、これまでと同様データによって検証したものである。同章で農業生産性は全要素生産性に相当するものとして Malmquist 生産性指数を取り上げ、これを米、小麦、トウモロコシ、および大豆についてそれぞれ推計し、それらの生産性と電力、潅漑、道路・自動車、教育、および衛生・保健投資・支出等の関係を、パネルデータによる推計によって分析し、各投資・支出等が４種の農産物の何れでも有意に生産性を高めることを明らかにしている。また、従来の同様の研究との比較によって、上記のような農業生産性の上昇が、財政の分権化の結果各地方において上であげたような基盤投資が促され、それによってもたらされたと推測できることを示している。第６章は、以上の議論・分析を纏めたもので、中国における財政の分権化が同経済、特に地域経済に次のような影響を与えたと結論している。すなわち、１つは地域の成長を促進したことであり、第２にそれに拘わらず地域内の較差の縮小にも貢献しているこ

とであり、第３に第１の成長促進の１つの形として社会資本投資を促進し、それが農業生産性の向上をもたらしたと考えられる、というものである。

論文審査の結果の要旨

本論文は、中国における財政分権化が及ぼした影響について、その地域経済成長への影響、地域の経済較差への影響、および地域における社会基盤投資と農業生産性の関係を、地域経済および財政データによって検証し、一方では従来の研究に再考を促す結果を示し、他方では従来の研究および理論的推測を裏付ける結果を示している。無論論文の何れの分析とも、分析方法、データの取り方、結果についての解釈等についてさらに検討する余地および必要があると考えられる。しかし本論文は、中国における財政分権化の地域経済への影響について１つの総合的・横断的な評価を実証分析の方法で提供したものと言え、博士（応用経済学）の学位に十分値するものと判断する。